平成25年度第11回 新たな市政運営の総合的な指針に係る庁内策定検 討委員会専門部会

> 日時 2013年10月11日(金) 午前9時30分 場所 職員会館ミーティングルーム

日 程

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 専門部会の開催結果について(資料1)
 - (2) 市民意識調査連動型ワークショップについて (資料 $2-1 \sim 2-3$)
 - ア 実施概要について(資料2-1)
 - イ アンケート調査の途中経過について(資料2-2)
 - ウ 当日の進行について(資料2-3)
 - (3) 今後のスケジュール案について(資料3)
 - (4) その他
- 3 閉会

(事務局 企画政策課 内線2171)

新たな市政運営の総合的な指針策定検討委員会専門部会委員名簿

2013年10月11日現在

No.	所属	職	氏 名
1	総務部行政総務課	課長補佐	三ツ井 幸子
2	財務部財政課	上級主査	宮代 保之
3	市民自治部市民自治推進課	上級主査	齋田 一輝
4	生涯学習部生涯学習総務課	課長補佐	中川 あをい
5	福祉部福祉総務課	主査	小門前 清彦
6	保健医療部衛生検査課	主査	栗田 圭史
7	子ども青少年部子ども青少年育成課	課長補佐	横田 淳一
8	環境部環境総務課	課長補佐	佐々木 祥
9	経済部産業労働課	上級主査	水野 郷史
10	計画建築部建築指導課	主査	會澤 貴浩
11	都市整備部都市整備課村岡地区整備担当	主査	三澤 健一
12	土木部道路整備課	主査	荒井 健太
13	市民病院事務局病院総務課	上級主査	谷津倉 晋
14	消防局消防総務課	上級主査	三橋 計三
15	教育部教育総務課	主査	増渕 典勝

平成25年度第10回新たな市政運営の総合的な指針策定検討委員会専門 部会議事概要

- 1 日時 2013年9月20日(金)午後9時30分~10時45分
- 2 場所 職員会館3階ミーティングルーム
- 3 議題

全協資料については改めてメールでファイル送信する。

- (1) 検討委員会・専門部会の開催結果について 資料1-1, 1-2, 1-3 については後程ご確認いただきたい。
- (2) 議員全員協議会の開催結果について

資料2については後程ご確認いただきたい。次の議員全員協議会は12月2日を想定しており、その際には選定した重点施策を含めた最終案を提示する予定である。それに向けた作業として、重点施策の絞込みと重点事業、長期的な重要案件の選定を行っていく。重点事業の選定については、総務課長宛に依頼する予定であるが、施策未確定後の段階での照会となるため、並行しての作業とした。重点施策候補に対する想定事業をピックアップするという形となる。日程上難しいところもあるのでご理解いただきたい。

(3) 市民意識調査連動型ワークショップについて

市民意識調査を行い、アンケート調査結果を踏まえて、その傾向、内容分析、深掘りを行うワークショップを行っていく。指針の重点施策、事業に反映させる。

(質疑)

- 検討委員会の承認を得ているのか。
 - ▶ 今回は日程の確保ができず、検討、確認の機会がなかったことについては お詫びしたい。指標については、新総合計画の指標を採用することは、経 費と市民の声を大切にするということである。
- だんだん新総合計画との策定過程と似てきていて、行政計画であるという点が見えにくくなっていると感じている。
- 指標の使い方についてはどのような考えか。
 - ▶ 施策指標については目標管理をしない。事業管理については、目標管理を

行うこととしている。

- 前回のワークショップとの差異はあるのか。
 - ▶ 出席者(対象)を変えている。事前の意識、考えをアンケートで表明するなかで、ワークショップの熟度が深まるのではないかと考えている。理事者との対話の機会を設定している点でも効果があるものと考えている。理事者が参加して、理事者との対話の場をつくる。自分の声が直接理事者に届くということもひとつの特色であると考えている。
- 討論型世論調査との差異は。テーマを興味の有無ではなく、提示した大きい テーマで議論することが良いのではないか。
 - ▶ 経費等であるが、テーマについてはアンケート調査結果を踏まえて深掘りをすることで、ある程度、興味、関心のみというこれまでの流れから抜けられるものと考えている。
- 行政事業についても説明し、アンケート結果の相関の乖離や自由記述になる 内容を聞き取っていくことも大切であると思うので、ワークショップの設計 で考慮して欲しい。
 - ▶ 行政事業についても、アンケート結果とともに説明していく。
- 今回はお金を出さず、市民の皆さんに来ていただくという点でも、その場の 内容を無駄にしてはいけないと思う。当日やりながら発言をメモで起こして、 すぐに PC でデータを起こして、掲示板に掲出するなどの庁内周知を図ったほ うが良い。検討委員会からのルートだけでなく、一般職員への周知をお願い したい。自由記述欄も同様である。
- 大学生の参加については、論点がない。何も意見がないかも知れない。
 - ▶ アンケートを渡して、事前に考えておいて貰うことが必要と考えている。
- 地区集会の流れは。
 - ▶ 説明会を想定している。従来型の説明、意見交換の流れを想定している。
- 次回も継続して検討するので、意見があればいただきたい。次回は実施要領 レベルを提示したいがアンケートの提出期限前である。
 - 次回は人数も想定して提示していただきたい。
- 何のために聞くのかが不明確である。指針におけるポイントである重点化の プロセスであるので、根拠として使っていくことが可能であると思うので、

強調したほうが良い。

- ▶ 原則そのような形で進めている。
- (4) 今後のスケジュール案について 資料4に沿って説明した。
- (5) その他

今日から11月までに13地区の郷土づくり推進会議への指針の説明を行う 予定である。あわせて地区集会にも出席する。 暮らしやすさを創るテーブル(市民意識調査連動型ワークショップ)の実 施について

1 目的と概要

総合計画の策定,評価には市民満足度調査や実現度,充足度調査等を実施してきましたが,「(仮称)新たな市政運営の総合的な指針」の策定と評価に当たり,①市民が重要と考える施策の抽出,②市民による重点施策等に関する意見交換と情報共有を連動させ,更に③市民活動と市政参画への動機付けを加えた事業を実施します。

これは、市民意識調査を連動させたワークショップを開催し、これまで別々に 実施していたものを融合させることで、相乗効果を高めるとともに、市民の施策 への関心の向上に寄与することを期待するものです。

(1) 市民意識調査の実施 (無作為抽出, 統計的処理)

無作為抽出した市民に対し、基本目標に対する実現度や重点施策に対する重要度・実現度(満足度)を調査するとともに、ワークショップへの参加を求めます。

(2) 市民意識調査結果を踏まえたワークショップの開催

市民意識調査結果をもとにワークショップを開催します。

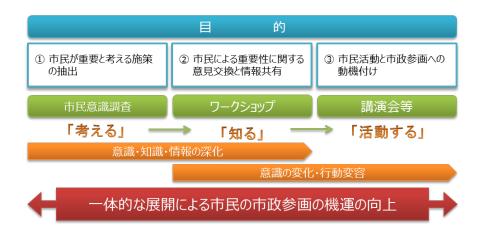
市民意識調査を元にしたワークショップとするため、一定の考え方や疑問点をあらかじめ有していることが想定され、個人の考え方と他者の意見、統計結果を照らし合わせるなかで、より深化した意見交換や深掘りした議論が期待されます。

また、楽しさや学びの要素を加えるため、市長・副市長との対話や講演会を 実施し、併せて市民活動の紹介等を実施します。

<「暮らしやすさを創るテーブル」について>

市民意識調査のデータ(テーブル)と意見交換,懇話等を行う場としての「テーブル」の両方の意味を込めて,融合した一連の事業を「暮らしやすさを創るテーブル」とします。





2 詳細実施内容

詳細実施内容については、次のとおりとします。

(1) 市民意識調査

層化2段(年代・地域)による無作為抽出による郵送法で,市民意識調査を 実施する。調査内容は,次のとおりとします。調査項目は,できるだけこれま での資源を活用するため,市民満足度調査,新総合計画における実現度(当時 は充足度)調査等のデータを活用し,経年変化が可視化できるように努めます。

ア 基本目標に関する実現度

新総合計画の「ふじさわ未来課題」から成果として近似するものを選択し, ベンチマーク¹とし、その実現度について調査します。

イ 重点施策候補(39施策)に関する重要度・実現度(満足度)

新総合計画の「戦略目標」、「政策」の成果指標から近似するものを選択し、ベンチマークとし、その重要度、実現度(満足度)について調査します。

ウ ワークショップへの参加諾否

ワークショップへの参加意思、保育、手話通訳の必要の有無等を無記名方式で調査します。中止の場合の連絡等はホームページで行うこと、参加はアンケートの提出により自動的に承諾されることを周知します。

工 自由記述欄

(2) ワークショップ

無作為抽出した調査対象者に向けて,ワークショップの参加案内,申込項目 を調査票と併せて送付し,参加を募るとともに,大学生を中心に若年世代への 参加を依頼します。

市民意識調査結果を集計し、ワークショップの資料として準備し、参考とし

¹ ベンチマーク 目標とする基準又は状態を評価する基準のこと。

て必要な情報(関連する施策,事業の状況等)を添付した資料を作成します。 本来であれば当日のテーマとなるアンケート結果についての事前送付が必要と なりますが、アンケート自体において個人情報を収集しないため、当日配布と し、資料のボリュームを抑えつつ、当日に内容報告を行うこととします。

テーマ等については、次のとおりとします。

(ワークショップのテーマ例)

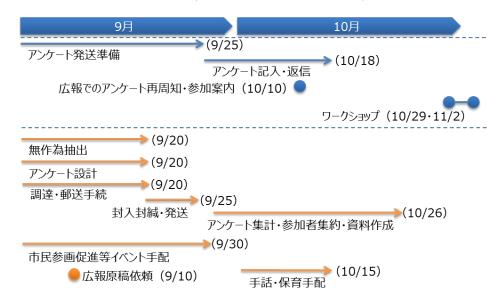
- ア 重要度の高い施策・事業や実現度(満足度)の低い施策,事業について, 身近なところで、どのようなことが該当しているのかの検討
- イ 重要度の高い施策・事業や実現度(満足度)の低い施策,事業について, その原因や改善方法についての検討
- ウ 基本目標や重点施策候補の全体の傾向を捉え、相対的な状況についての意 見交換

(市民参加を促進する取組案)

- エ 市政参画を促す市長との対話,講演会又は市政への市民参加に繋がる活動 への誘導(活動紹介)
 - (ア) ワークショップでの意見を市長に聞いてみる。(コーディネーターの要否)
 - (4) 市政参加につながるミニ講座(手塚明美氏に依頼済)
- オ 各地域の地区報、ミニコミ誌、藤沢市市民活動推進センター情報誌、ボランティア情報誌「VOLUNTEERS-ボランティアーズ」等の配布

3 基本スケジュール

基本スケジュールについては、次のとおりとします。



市民意識調査の実施結果について(途中経過)

これまで本市では、総合計画の策定、評価に当たり市民満足度調査や実現度、充足度調査等を実施してきましたが、「(仮称)新たな市政運営の総合的な指針」の策定と評価に当たり、市民が重要と考える施策の抽出と市民による重点施策等に関する意見交換、情報共有を連動させ、更に市民活動と市政参画への動機付けを加えた事業を実施します。

今回は、この一連の事業を市民意識調査連動型ワークショップとして「暮らしやすさを創るテーブル」と称しています。

- 1 市民意識調查実施結果(途中経過)
 - (1) 対象 無作為抽出した9月1日現在20歳以上の市民 2,045人
 - (2) 調査内容 都市像,基本目標,重点施策候補の指標(ベンチマーク) 成果指標については,新総合計画の「ふじさわ未来課題」「成果指標」をできる限り引用し,前計画策定時の民意,資源(経費)を活用することとしました。 また,指標については目標管理とせず,基準(ベンチマーク)とし,その指標値をもとに改善,推進を図るための材料として位置づけます。
 - (3) 回答状況(10月8日現在)
 - ア 回答数 397件
 - イ 回収率 19.41%
 - ウ ワークショップ参加意向
 - (ア) 参 加 16人(長後1, 市役所15)
 - (1) 不参加 274人
 - (ウ) 未 定 105人
 - (4) 集計状況 別紙のとおり

以 上

(仮称) 新たな市政運営の総合的な指針に関する市民意識調査結果

1 基本属性 (1)性別

<u> </u>		
性別	回答数	割合
男性	185	46.60%
女性	211	53. 15%
未回答	1	0. 25%

(3) 職業

<u>// 1947</u>		
区分	回答数	割合
会社員	110	27. 71%
自営業	29	7. 30%
団体職員	12	3. 02%
農林漁業	1	0. 25%
家事専業	91	22. 92%
パート・アルバイト	46	11. 59%
学生	5	1. 26%
無職	80	20. 15%
その他	23	5. 79%
未回答	0	0.00%

(4) 居住地区

<u>1/ /口 L / L / L / L / L / L / L / L / L / L</u>		
区分	回答数	割合
片瀬地区	16	4. 03%
鵠沼地区	59	14.86%
辻堂地区	41	10. 33%
村岡地区	26	6. 55%
藤沢地区	46	11. 59%
明治地区	20	5. 04%
善行地区	38	9.57%
湘南大庭地区	23	5. 79%
六会地区	23	5. 79%
湘南台地区	26	6. 55%
遠藤地区	19	4. 79%
長後地区	29	7. 30%
御所見地区	22	5. 54%
分からない	7	1. 76%
未回答	2	0.50%

(2) 年代

年代	回答数	割合
20歳代	26	6. 55%
30歳代	67	16.88%
40歳代	82	20.65%
50歳代	58	14.61%
60歳代	94	23.68%
70歳代	53	13. 35%
80歳代	17	4. 28%
90歳代~	0	0.00%
未回答	0	0.00%

2 重点施策に関する調査 (1) 実感度(充実感等があるか)

施策候補名	非常に ある	少し ある	あまり ない	まった くない	該当しない	分から ない	未回答	実感度
災害に強いまちづくりの推進	14	126	129	27	62	36	3	35. 26%
公共施設の再整備の推進	10	77	129	16	108	55	2	21.91%
13地区のまちづくりの推進	15	103	137	22	99	20	1	29.72%
市民文化ゾーンの再整備の推進	29	151	100	30	65	16	6	45. 34%
元気と健康づくりの推進	22	132	99	19	105	19	1	38. 79%
市内中小企業の活力再生	19	117	118	27	89	25	2	34. 26%
市内産農水産物の地産地消の推進	14	118	108	22	99	33	3	33. 25%
地域資源の開拓等による消費観光の 推進	47	164	76	20	73	13	4	53. 15%
誰が快適に移動できる交通まちづく りの推進	42	161	81	26	74	11	2	51. 13%
スポーツ施設の整備拡充	31	132	85	18	106	23	2	41.06%
環境施設整備の推進	96	192	27	6	56	18	2	72.54%

2013/10/8 1 (2) 実現度(充足度)

施策候補名	大変 充足	概ね 充足	不足 気味	不足	分から ない	未回答	実現度
シティプロモーションの推進	24	186	127	14	44	2	52. 90%
マルチパートナーシップの推進	13	84	168	46	81	5	24. 43%
郷土文化資産の活用の推進	14	91	155	48	86	3	26. 45%
障がい者の相談支援体制の拡充	8	82	155	74	75	3	22.67%
若者を中心とした自立支援	36	149	114	22	74	2	46.60%
きめ細やかな福祉相談と事業連携の 推進	17	111	138	55	70	6	32. 24%
犯罪のない、明るいまちづくりの推 進	16	191	113	35	38	4	52. 14%
教育現場におけるICT化の推進	8	71	91	11	215	1	19.90%
学校生活における食の充実	12	106	67	11	195	6	29. 72%
消防力の充実・強化	55	223	58	8	53	0	70.03%
安全で快適な道路環境の整備	38	165	119	57	16	2	51. 13%
再生可能エネルギーの推進	4	33	122	79	157	2	9.32%

(3) 満足度

施策候補名	大変 満足	やや満足	普通	やや 不満	不満	分から ない	未回答	満足度
地域コミュニティ活動への支援強化	22	53	201	40	28	52	1	21.74%
市民が実感する市民活動の推進	8	44	182	43	16	103	1	17.69%
高齢者福祉施設・居住(居宅)系 サービス基盤の整備促進	9	28	111	42	17	188	2	17. 70%
地域のニーズに即した子育て支援策 の充実	15	67	143	47	24	96	5	27. 24%
企業立地の促進	9	25	114	61	26	162	0	14. 47%
「学び」を活用した生涯学習の充実	8	43	149	53	18	121	5	18.48%
(仮称) 街なみ百年条例にもとづく 歴史と景観まちづくりの推進	23	76	159	73	34	29	3	26. 90%
谷戸をはじめとする緑地保全の推進	21	75	167	59	29	45	1	27. 27%
公立病院としての機能強化	35	100	146	65	27	20	4	35.81%
学校生活に困難がある児童生徒への 対応の強化	8	30	112	41	23	178	5	17. 35%
待機児童の解消	5	16	72	45	45	207	7	11.05%
村岡地区まちづくりの推進・藤沢駅 周辺地区再整備の促進	22	87	134	80	51	22	1	29. 07%
西北部のまちづくりの推進・土地区 画整理によるまちづくりの推進	8	48	101	59	42	136	3	21. 46%
都市インフラ(橋梁、道路、下水道 等)の再整備の推進	4	21	125	66	31	146	4	9. 96%

3 _都市像・基本目標に関する調査(実現度(充足度))

施策候補名	大変 充足	概ね 充足	不足 気味	不足	分から ない	未回答	実現度
暮らしやすいまちであること。	23	217	95	25	37	0	60. 45%
愛着の持てるまちであること。	33	182	94	15	71	2	54. 16%
安全な暮らしを守る	9	105	155	49	74	5	28. 72%
文化・スポーツを盛んにする	10	106	128	32	117	4	29. 22%
豊かな環境を創る	20	197	98	27	51	4	54.66%
子どもたちを守り育む	23	166	101	26	77	4	47.61%
健康で安心な暮らしを支える	23	196	106	23	46	3	55. 16%
地域経済を循環させる	6	69	151	53	115	3	18.89%
都市基盤を充実する	21	153	121	42	56	4	43.83%
市民自治・地域づくりを進める	10	86	130	42	125	4	24. 18%

2013/10/8 2

4 重要度調査

里安皮調宜 	割合
施策候補名 災害に強いまちづくりの推進	54. 66%
公共施設の再整備の推進	13. 10%
13地区のまちづくりの推進	
	31. 49%
市民文化ゾーンの再整備の推進 元気と健康づくりの推進	12. 34%
	21. 66%
市内中小企業の活力再生	24. 43%
市内産農水産物の地産地消の推進	14. 86%
地域資源の開拓等による消費観光の推進	14. 86%
誰が快適に移動できる交通まちづくりの推進	30. 48%
スポーツ施設の整備拡充	9.07%
環境施設整備の推進	36. 02%
シティプロモーションの推進	20. 40%
マルチパートナーシップの推進	15. 87%
郷土文化資産の活用の推進	9. 32%
障がい者の相談支援体制の拡充	40. 55%
若者を中心とした自立支援	24. 18%
きめ細やかな福祉相談と事業連携の推進	44. 58%
犯罪のない、明るいまちづくりの推進	51. 64%
教育現場におけるICT化の推進	3. 02%
学校生活における食の充実	9. 57%
消防力の充実・強化	42. 32%
安全で快適な道路環境の整備	26. 20%
再生可能エネルギーの推進	19. 14%
地域コミュニティ活動への支援強化	11. 34%
市民が実感する市民活動の推進	10. 33%
高齢者福祉施設・居住(居宅)系サービス基盤の整備促進	36. 02%
地域のニーズに即した子育て支援策の充実	40.81%
企業立地の促進	11. 59%
「学び」を活用した生涯学習の充実	10. 33%
(仮称) 街なみ百年条例にもとづく歴史と景観まちづくりの推進	24. 43%
谷戸をはじめとする緑地保全の推進	16.88%
公立病院としての機能強化	50. 38%
学校生活に困難がある児童生徒への対応の強化	19. 40%
待機児童の解消	23. 43%
村岡地区まちづくりの推進・藤沢駅周辺地区再整備の促進	26. 20%
西北部のまちづくりの推進・土地区画整理によるまちづくりの推進	9. 57%
都市インフラ(橋梁、道路、下水道等)の再整備の推進	35. 52%
暮らしやすいまちであること。	39. 29%
愛着の持てるまちであること。	18. 64%
安全な暮らしを守る	49.87%
文化・スポーツを盛んにする	7. 56%
豊かな環境を創る	12. 09%
子どもたちを守り育む	33. 50%
健康で安心な暮らしを支える	46. 10%
地域経済を循環させる	18. 39%
都市基盤を充実する	19. 65%
市民自治・地域づくりを進める	10. 08%

2013/10/8 3

5 参加申込状況 (1<u>) 参加意思</u>

区分	回答数
参加(10月29日(長後))	1
参加(11月2日(市役所))	15
不参加	274
未定	105

(2) 参加テーマ

B/ 9/3F/ ·	
テーマ	回答数
防災・防犯	3
文化・スポーツ	0
環境	1
子育て・教育	1
福祉・健康	4
地域の経済	1
都市基盤(道路・公園・下水道など)	3
自治会・地域の活動	1
その他	1
わからない	3

2013/10/8 4

市民生活に関する意識調査(2013年(平成25年))

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。

(): 空白マーク (●: 正しいぬりつぶし (): 不十分なぬりつぶし

7	さな	:いように記入してく	ください。			
		用紙は機械で処理し 注意してください。) ます。回答欄以外に書	き込みをしたり、用 紀	紙を汚したり、折り目を	を付けたりしないよ
	ご回	回答いただいている	方について】			
/						
(1)		性別をお答えくださり 男性	い。 () 女性			
	V	2312	V ME			
(2))	年代をお答えくださ	い。			
	0	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
	0	70歳代	80歳代	90歳以上		
(3)		ご職業をお答えくだ		A	A	A
		会社員	自営業	団体職員	農林漁業	家事専業
	0	パート・アルバイト	学生	無職	() その他	
(4)		お住まいの地区をお行 片瀬地区		辻堂地区		
	1.0		鵠沼地区	and the second s	村岡地区	藤沢地区
	0	明治地区	善行地区	湘南大庭地区	六会地区	湘南台地区
	0	遠藤地区	長後地区	御所見地区	() 分からない	

油性マジックのような、裏面ににじむものでの記入はさけてください。 記述式の回答は、回答欄からはみ出

【藤沢全体のことについて】

(5) 次の1~12の項目についてどのようにお感じになられますか?それぞれ該当する欄に1つずつマークしてください。また、1~12の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください(6つまで)。

			どのように思われますか?								
		すごく そう思う	少しそ う思う	どちら でもない	あまり 思わない	まったく 思わない	わからない				
1	地域で災害への備えができていると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			
2	公共施設を次世代のために,より良い状態で引き継げていると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			
3	地域で支え合っていると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			
4	市内に文化的な魅力があると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			
5	健康づくりを支える環境が充実していると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			
6	市内の工業に活力があると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			
7	市内の商業に活力があると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			
8	市内の農水産業に活力があると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			
9	市内の観光に活力があると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			
10	交通ネットワークが充実していると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			
11	スポーツ施設が充実していると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			
12	環境に配慮したゴミ処理がされていると感じますか?	0	0	0	0	0	0	0			

(6) 次の1~12の項目についてどれくらい実現できていると思いますか?それぞれ該当する欄に1つずつマークしてください。また、1~12の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください(6つまで)。

		9	今どれくらい実現できていると思いますか?						
		よくで きている	だいたい できている	あまりで きていない	できて いない	わからない			
1	市民が自慢できるまちであること。	0	0	0	0	0	0		
2	市民自らが藤沢を良くする活動に積極的であること。	0	0	0	0	0	0		
3	豊かな地域の資源を大切にし、楽しい体験ができるまちで あること。	0	0	0	0	0	0		
4	社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること。	0	0	0	0	0	0		
5	子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていること。	0	0	0	0	0	0		
6	福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること。	0	0	0	0	0	0		
7	犯罪のない、明るいまちであること。	0	0	0	0	0	0		
8	パソコンなどの情報機器を使った学校での教育活動が盛ん なまちであること。	0	0	0	0	0	0		
9	食事や食生活を意識した学校生活がなされていること。	0	0	0	0	0	0		
10	消防や救急の活動が充実していて、安心できること。	0	0	0	0	0	0		
11	道路が整備され、快適であること。	0	0	0	0	0	0		
12	自然エネルギーが有効に活用されているまちであること。	0	0	()	0	0	()		

(7) 次の1~14の項目の取り組みへの満足度についておうかがいします。また、1~14の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください(7つまで)。

		どのように思われますか?									
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない				
1	自治会活動について	0	0		0	0	0	0			
2	市民主体のまちづくり活動について	0	0	0	0	0	0	0			
3	高齢者の在宅サービスについて	0	0	0	0	0	0	0			
4	安心して子育てができる環境づくりについて	0	0	0	0	0	0	0			
5	新しい産業の立地について	0	0	0	0	0	0	0			
6	生涯学習の機会や場の提供について	0	0	0	0	0	0	0			
7	美しい街なみなど、市内の景観づくりについて	0	0	0	0	0	0	0			
8	斜面緑地や樹木など緑の保全について	0	0	0	0	0	0	0			
9	いつでも安心して受けられる医療の充実について	0	0	0	0	0	0	0			
10	個性豊かな児童生徒が育成される開かれた学校づくりにつ いて	0	0	0	0	0	0	0			
11	保育園の待機児童の解消について	0	0	0	0	0	0	0			
12	駅をはじめとする都市の拠点の整備について	0	0	0	0	0	0	0			
13	市の北部の道路や住宅の整備について	0	0	0	0	0	0	0			
14	橋や下水道の老朽化対策について	0	0	0	0	0	0	0			

(8) 次の1~10の項目についてどれくらい実現できていると思いますか?それぞれ該当する欄に1つずつマークしてください。また、1~10の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください(5つまで)。

		4	今どれくらい実現できていると思いますか?						
		良くで きている	だいたい できている	あまりで きていない	できて いない	わからない			
1	誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること。	0	0	0	0	0	0		
2	子供が大人になっても愛着の持てるまちであること。	0	0	0	0	0	0		
3	災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。	0	0	0	0	0	0		
4	地域の記憶や文化が継承され、発展すること。	0	0	0	0	0	0		
5	まちと自然環境の調和がとれていること。	0	0	0	0	0	0		
6	子どもを安心して育てられる環境があること。	0	0	0	0	0	0		
7	保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。	0	0	0	()	()	0		
8	産業の活力を高め、地域が元気になること。	0	0	0	0	0	0		
9	移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設である こと。	0	0	0	0	0	0		
10	市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること。	0	0	()	0	0	()		

【その他】

(9)	このアフケートについても含め、	. 川へのこ息兄なこがめ	りりょしたりの間がせく	. /2 0 %	

(何も書かなくても構いません。)

(個別にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。)



【市民ワークショップについて】

「生活課題を考える 市民ワークショップ」参加のお誘い

ここまでお答えいただいたアンケートの内容について、「こんなことに困っている」「こういうところを良くしたい」などの具体的な意見交換をいただく「生活課題を考える市民ワークショップ」を行います。意見交換の結果は、市の重点的な取り組みの検討に反映していきます。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。 詳細は、同封のご案内をご覧ください。

このワークショップ(こついておうかがいします。		
(10) ご参加いただけま ⁻ (10月29日(火)(すか? 長後市民センター)に参加する。		
○ 11月2日(土)(菔	藤沢市役所)に参加する。		
♦加しない。			
わからない。			
(11) (10)で「参加する」 まるものを1つ選んで		いします。意見交換する分	野の希望はありますか?最もあては
防災・防犯	文化・スポーツ	環境	子育て・教育
福祉・健康	⇒地域の経済	都市基盤(道路・ 水道など)	公園・下 (自治会・地域の活動
その他()	わからない	
(12) (10)で「参加する ください。	」とお答えいただいた方におうかか	いします。意見交換で希望	捏される具体的な内容があればご記入

(例) 地震や津波に不安がある。子どもが自由に遊べる環境があると良い。 など

アンケートは以上です。2013年(平成25年)10月18日(金)までにご返送ください。 ご協力ありがとうございました。

※ ワークショップにご参加いただける皆さまへ

アンケートは無記名での回収となりますので、改めて開催のご案内状等の送付はございません。当日、会場に直接お越しください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

「暮らしやすさを創るテーブル」の進行について

1 当日のスケジュール概要

全体で150分を想定しているが、ワークショップの進み具合に応じて、早目 に終了する。

- (1) 新たな指針の概要説明(15分)
- (2) 指針に関する質疑応答(15分)
- (3) ワークショップの進め方説明 (5分)
- (4) アンケート調査結果発表 (10分)
- (5) ワークショップ(60分)

10名を1グループの目安として、編成する。

アンケートの内容は漠然としているので、感じたこと、課題点の深堀又は要 因の分析を中心としながら、考えを順番に発表していく。

考えについては記録をし、グルーピングを行っていく。

- ア 自己紹介(10分)
- イ アンケート結果からグループで関心のある分野についての意見交換を行う。
 - (2分野程度, 20分×2セッション)
 - (ア) アンケート集計結果をどのように感じたか。
 - (イ) アンケート集計結果が低い(高い)原因は何か。
 - (ウ) 誰が何をしたら良いか。
- ウ 意見交換した内容をもとに、市長に答申する市民ビジョン「どんなまちに なったら良いか」をまとめる。(10分)
- (6) 発表と市長との意見交換(10分×3グループ)
- (7) 感想・意見シートの記入と提出

2 役割分担の想定

(1) 10月29日(長後市民センター)

専門部会2名,事務局3名体制

役割	人数	担当
会場設営	3	事務局
受付	2	専門部会
進行・説明	2	事務局
ワークショップ進行	2	専門部会
ワークショップ書記	2	事務局
撤収	5	専門部会・事務局

(2) 11月2日(市役所第3庁舎)

専門部会8名,事務局6名体制

役割	人数	担当
会場設営	6	事務局
受付	4	専門部会(事務局)
進行・説明	2	事務局
ワークショップ進行	4	専門部会
ワークショップ書記	4	専門部会 (事務局)
撤収	1 4	専門部会・事務局

			定検討委員]会					専	門部会						意見等
回	日時		場所	内容	備考	1	回	日時		場所	内容	備考	1	日時		内容
第10回	8月19日	(月) 13:30~14:20	災害対策 本部室	二次案(全協資料案)の検 討												
							第10回	9月20日	(金) 9:30~12:00	ミーティン グルーム	会議報告,市民意識調査,市民ワークショップの検討					
							第11回	10月11日	(金) 9:30~12:00	ミーティングルーム	市民ワークショップの検討					
第11回	10月17日	(木) 9:30~12:00	災害対策 本部室	重点施策・重点事業の選 定方法の検討、市民意識 調査、市民ワークショップ 実施説明		\rightarrow	第12回	10月23日	(水) 14:00~17:00	第3庁舎 第1会議 室	市民ワークショップの検 討, 重点施策部会素案の 検討					
第12回	10月31日	(木) 10:30~12:00	災害対策 本部室	重点施策の検討		+								10月29日 (11月 2日 (市民意見(ワークショップ)
第13回	11月6日	(水) 17:00~19:00	災害対策 本部室	指針本編の再検討, 重点 施策の検討		\rightarrow							\rightarrow	11月11日 (月)	理事者調整(9:00~ 12:00)
第14回	11月14日	(木) 9:30~11:30	災害対策 本部室	指針本編の再検討, 重点 施策の検討 (市長不在)		\rightarrow							\rightarrow	11月18日 ((月)	理事者調整(17:30~ 19:00)
第15回	11月20日	(水) 15:30~17:00	災害対策 本部室	指針(案)の決定 重点施策の決定 全協資料の決定		\rightarrow							\rightarrow	11月25日(議員全員協議会資料提 出期限
														12月2日 (月)	議員全員協議会(予定)
第16回	12月10日	(火) 総務常任委 終了後		重点事業の検討	一般質問 答弁調整	\rightarrow							\rightarrow	12月17日 (12月18日 (12月19日 (水)	重点事業理事者査定 (18:30~21:00)
第17回	12月26日	(木) 9:30~12:00	災害対策 本部室	重点事業の指定 (平成26年度予算示達)												